

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名 東淀川区
学校名 大阪市立啓発小学校
学校長名 古田 晃久

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・啓発小学校では、第6学年 42名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

教科に関する調査の国語の本校平均正答率は60%で、大阪市平均値を5ポイント、全国平均値を6.8ポイント下回っている。算数の本校平均正答率は50%で、大阪市平均値、全国平均値とともに8ポイント下回っている。理科の本校平均正答率は53%で、大阪市平均値を2ポイント、全国平均値を4.1ポイント下回っている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]

学習指導要領の内容別にみると「情報の扱い方に関する事項」の設問における平均正答率が全国平均値を大きく上回っている。学習者用端末をはじめとするICTを活用した授業実践に継続して取り組んできた成果と考える。一方、「言語の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」の設問における平均正答率は、全国平均値を下回り、その差が大きい。基礎基本の定着及び目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することが課題である。

[算数]

学習指導要領の領域別にみると、いずれの領域においても、全国平均値を下回っており、その差が大きい。正答数分布をみると、正答数が少ない児童の割合が多い。学力に課題のある層への基礎学力の定着が課題である。

[理科]

学習指導要領の領域別にみると、いずれの領域においても、全国平均値を下回っているが、その差は小さい。3年生から専科教員による指導を展開しており、きめ細やかな指導の成果と考える。正答数分布をみると、正答数が少ない児童の割合が多い。学力に課題のある層への基礎学力の定着が課題である。

質問調査より

PC・タブレットなどのICT機器を活用することについての質問項目で「友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」、「友達と協力しながら学習を進めることができる」について肯定的に回答した児童の割合はそれぞれ85.3%、90.2%で全国平均値をそれぞれ0.7ポイント、2.7ポイント上回っている。本校の特徴であるICT機器を活用した授業実践により児童が協働的な学びのしやすさを実感していることが成果として表れている。

「国語の勉強は好きですか」の質問において肯定的に回答した児童の割合は58.5%で全国平均値を0.2ポイント上回っている。一方、「算数の勉強は好きですか」「理科の勉強は好きですか」の質問において肯定的に回答した児童の割合はそれぞれ43.9%、68.3%でいずれも全国平均値をそれぞれ14.0ポイント、11.8ポイント下回っており、今後、児童の興味・関心を高める授業改善が求められる。

今後の取組(アクションプラン)

- ・習熟度別少人数指導やチーム・ティーチングなど児童の実態に応じたきめ細やかな指導が展開できる学習形態の工夫
- ・児童の習熟に応じた反復学習や発展学習に児童自らが選択して取り組めるAIドリルなどの1人1台学習者用端末の活用の工夫
- ・学びコラボレーターや学びサポートーとの連携による学習指導および放課後学習の実施による学力に課題のある児童の基礎基本の定着
- ・小中一貫校の特性を生かした、小中連携による児童の特性に応じたきめ細やかな指導体制の構築

【 全体の概要 】

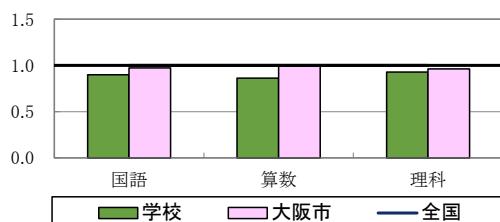
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	60	50	53
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

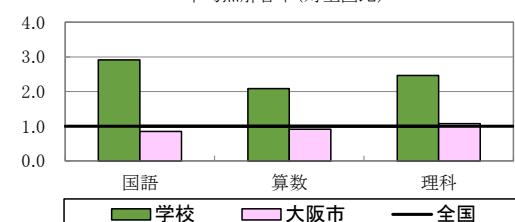
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	9.6	7.5	6.9
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



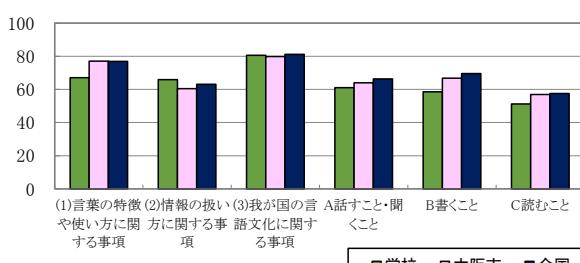
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	67.1	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	65.9	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	80.5	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	61.0	64.0	66.3
B 書くこと	3	58.5	66.7	69.5
C 読むこと	4	51.2	56.9	57.5

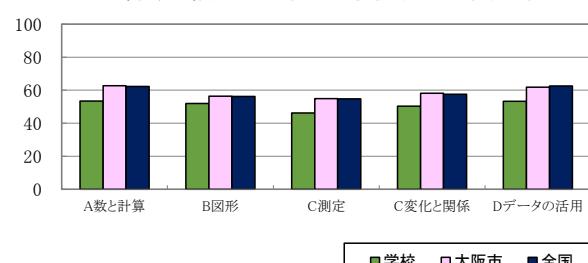
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	53.5	62.7	62.3
B 図形	4	51.9	56.4	56.2
C 測定	2	46.2	54.9	54.8
C 変化と関係	3	50.4	58.2	57.5
D データの活用	5	53.3	61.9	62.6

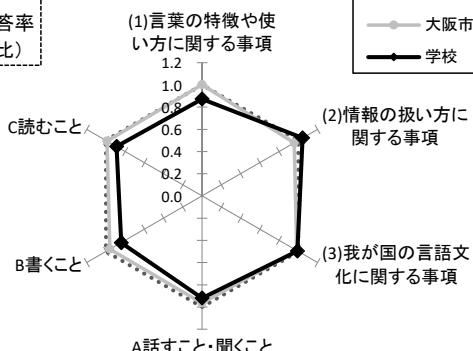
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



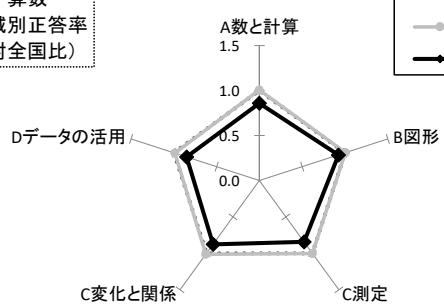
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

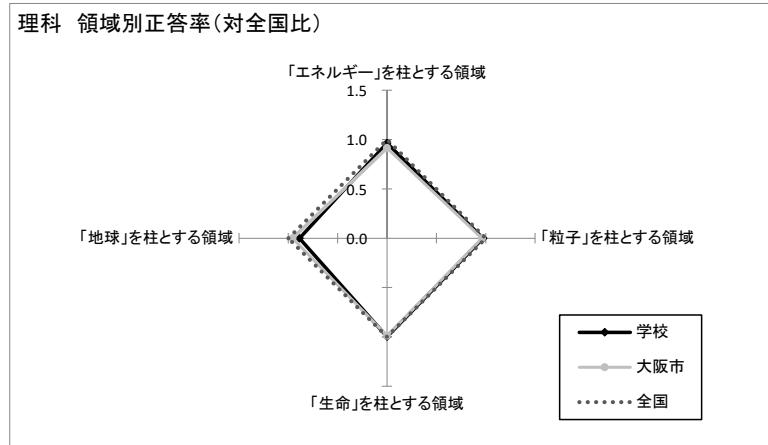
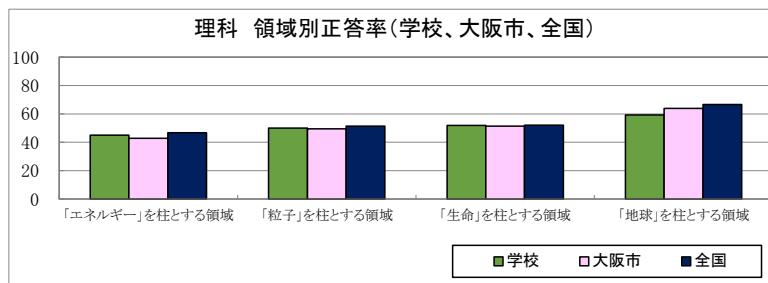


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	45.0	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	50.0	49.5
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	51.9	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	59.2	63.8



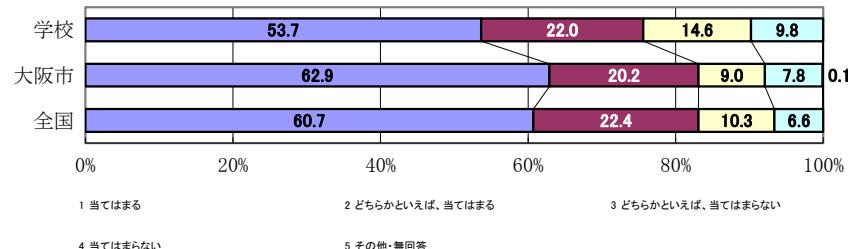
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

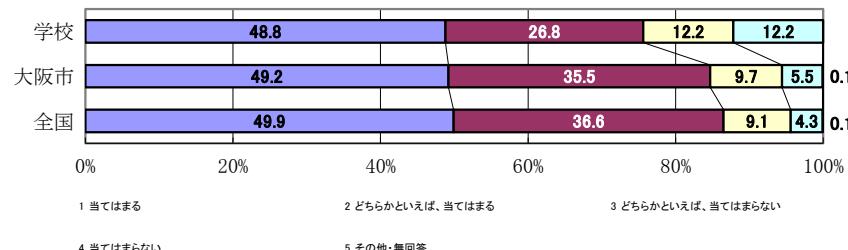
7

将来の夢や目標を持っていませんか



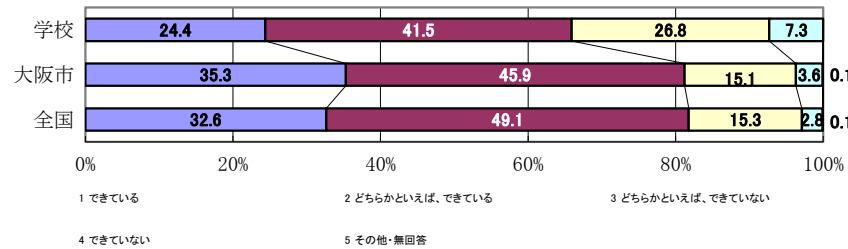
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



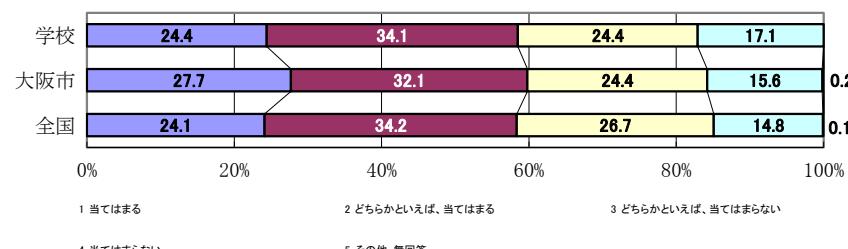
16

分からぬことやくわしく知りたいことがあつたときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



45

国語の勉強は好きですか



53

算数の勉強は好きですか

